

説明文書

【課題名】 「医用画像の診断能向上に関する包括的研究」

【研究の背景・目的】

金沢大学附属病院においては診療上の必要性から各種画像検査が施行され、診療情報として記録、保存されており、各種画像検査の適応は原則として過去の知見から得られた臨床的有用性に基づいて決定され検査が施行されています。しかし画像診断においては、未だ意義の確立していない所見も多く存在し、また、近年は診断機器の進歩が著しく、従来確立されている以上の診断情報を医用画像から得る可能性も高いと考えられます。本研究では、対象疾患において後方視的に医用画像の所見の検討、撮像法の最適化およびその臨床的価値を検討することを目的とします。また、人工知能技術を用いた画像診断補助ソフトウェアの有用性の検討も適宜行います。

【研究の対象・方法】

適格基準， 研究対象者：2004 年以降に本附属病院にて本研究の対象となる疾患および疾患疑い（消化器病疾患、胸部疾患、泌尿器系疾患、婦人科系疾患、脳疾患、内分泌系疾患、血管系疾患、感染症、腫瘍性疾患、変性疾患、薬物・毒物中毒性疾患、先天性疾患、自己免疫性疾患・膠原病、外傷性疾患、医原性疾患、特発性疾患、遺伝性疾患、精神・心因性疾患）の診断のため画像検査が施行された患者を対象とします。医用画像としては、単純X線写真、造影検査（消化管造影、尿路造影、胆膵管造影、血管造影など）、CT画像、MRI画像、ポジトロン断層画像、シンチグラフィー、超音波画像などの医用画像を評価対象とします。研究項目としては特定疾患における画像所見の診断能（感度・特異度・精診率）の検討、画像診断で得られた偶発症の臨床的意義の検討、画像解剖（正常変異、破格）の検討、画像撮影法の適正化（造影検査の最適撮像時相の検討、適切な管電圧の設定における検討、逐次近似法の画質の検討、MRI 撮像シーケンスの検討など）を行います。さらに人工知能技術を用いた画像診断補助ソフトウェアの有用性の検討も行う。

【個人情報保護への配慮】

この研究で得られた個人情報は匿名化され、厳重に管理されます。研究成果から得られた結果は金沢大学附属病院に帰属し、本研究で得られた知見に関しては、学会や学術雑誌、医学冊子等にて公表することとします。また医用画像はオンラインを含めたセミナー、カンファレンスなどに利用する場合がありますが、個人情報は一切公表されません。

【研究への参加・不参加および同意撤回の自由】

この研究に参加されるかどうかはご本人の自由であり、参加・不参加によって今後の診療に不利益が生じることはありません。またいつでも参加を辞退することができます。上記の研究対象に該当する患者様で、参加辞退のご希望、または一旦参加に同意された後でも撤回のご希望がありましたら、お手数ですが2024年12月27日までに以下の窓口までご連絡をお願い致します。

【連絡先】

金沢大学附属病院 放射線科 蒲田敏文

〒920-8640 金沢市宝町 13-1

Tel : 076-265-2323 Fax : 076-234-4256